

釧路工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	電子情報システム工学特別研究Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		0044		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		学修単位: 8	
開設学科		電子情報システム工学専攻		対象学年		専2	
開設期		通年		週時間数		前期:8 後期:8	
教科書/教材		各指導教員の指示による					
担当教員		高 義礼					
到達目標							
論文調査などにより、研究の背景、社会のニーズなどを理解できる。課題解決を計画的に遂行できる。研究成果の社会への影響を考察できる。日本語による論理的な報告書作成とプレゼンテーション、英語による概要説明ができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B 学習・教育到達度目標 D 学習・教育到達度目標 E 学習・教育到達度目標 F 学習・教育到達度目標 G JABEE d-2 JABEE d-3 JABEE d-4 JABEE e JABEE f JABEE g							
教育方法等							
概要		研究の遂行を通して高度な専門知識や実験技術を修得し、継続的に学習する能力を育成する。研究・設計などの活動における知識や技術の必要性を認識する。さらに、研究遂行において修得した知識や技術をもとに創造性を発揮し、計画的に実行する能力、論文作成・研究発表により文章表現力、プレゼンテーション、コミュニケーション能力を育成する。					
授業の進め方・方法		特別研究は本科の卒業研究を含む3年間、あるいは、専攻科の2年間を通して一つの課題に取り組むものであり、長期間にわたる。指導教員の指示だけでなく、自発的に計画的に遂行することに心がけること。別紙の評価方法によって評価する。60点以上で合格である。					
注意点		長期にわたり、一つのテーマを追求するので、自発的な学習、創造性の発揮、計画的な遂行が重要である。指導教員との話し合いを密にし、定常的な学習・研究が必要である。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1. 応用的な研究課題の設定		関連する技術を調査できる。		
		2週	2. 関連する技術調査		特別研究論文を計画的に作成できる。		
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週	前期中間試験:実施しない				
	2ndQ	9週	3. 研究計画の立案		研究内容に沿って計画を立案できる。		
		10週	4. 研究環境の再構築		研究に必要な環境を整備・構築できる。		
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週	前期期末試験:実施しない				
後期	3rdQ	1週	5. 実験および結果の整理		研究に必要な実験ができる。		
		2週	6. 実験結果とシミュレーション結果の比較		実験から得られた結果と理論との比較ができる。		
		3週	7. 履修計画書の作成		学位授与申請書の作成ができる。		
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週	後期中間試験:実施しない				
	4thQ	9週	8. 検討及び考察		実験結果の論理的な考察ができる。		
		10週	9. 実験結果と考察、まとめ		研究論文を計画的に作成できる。		
		11週	10. 研究論文の作成と発表		研究成果を図、表を用いて纏めて発表することができる。		
		12週	11. 成果要旨等の作成		学位授与の申請ができる。		
		13週					
		14週					

		15週					
		16週	後期期末試験:実施しない				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0